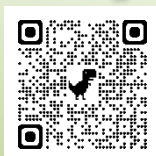
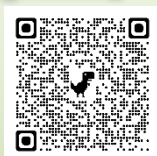


南宮の里



ホームページ



↑ Facebook も随時更新中！

No.6



文責：川上量広（教頭）

11月21日(火) 校長講話

校長室のバイオリン



全校の皆さん、おはようございます。

11月は「学び合い月間」です。全クラス、全教科で4人グループになって学び合いの授業が展開されていることを嬉しく思います。前もお話したように、一番のねらいは、“先生に教えてもらう授業から、自分たちで学びを進める授業への転換”です。ぜひ、わからないことがあったとき、「これってどういうこと？」とグループの友達に聞くことを大切にしていきましょう。

今朝の校長講話は（布を被せてある）これについて話します。何でしょうね？（布を取る）これは校長室にあったバイオリンです。昨年、大掃除をしている時に、金庫の上にこのケースに入れて置かれているのを見つけました。ケースには「贈 第二回卒業生一同（昭和三十一年度卒）平成七年一月十日」と書かれています。おそらく昭和三十一年に卒業した先輩方が、平成七年に南宮中に寄贈してくださったのではないかと思います。そしてケースの中には、数枚のスライドフィルムが入った青い小箱があり、そこには「小沢信久二氏寄贈」と書かれていました。

皆さんは「小沢信久二さん」という名前を聞いたことがありますか？

実は図書館にあったこの古い本「星空のバイオリン」の主人公です。長編アニメとして映画化もされました。何とこの小沢さんは中野市竹原（高社中の学区）に住み、わが国を代表するバイオリン製作者の1人で「日本のストラディバリ」と称された方です。1998年（今から25年前）に82歳で亡くなるまでに約600挺（ちょう）のバイオリンを製作し、その中の1挺がこれです。中野市は皆さんもご存知の通り、中山晋平さん、高野辰之さん、久石譲さんなど偉大な作曲家を生んだ音楽のまちです。そして生涯、素晴らしいバイオリンを作り続けた小沢信久二さんという方もいらしたのですね。

先ほど「日本のストラディバリ」と紹介しましたが、皆さんも「ストラディバリ」あるいは「ストラディバリウス」という名前を聞いたことがある人もいるでしょう。身近なところでは、お正月番組「芸能人格付けチェック」(浜ちゃんが司会をし、GACKTさんが次々と正解を当ててしまう番組)で、楽器の聴き比べがあって、「ストラディバリウス」と「安い楽器」の演奏を聴き比べるシーンがありました。私はどちらがストラディバリウスかよくわかりませんでした…

ちなみにストラディバリウスは、イタリアのストラディバリ父子3人が製作した弦楽器のことです。そのバイオリンは、約520挺存在し、最も高値をつけたのは1721年のストラディバリウス「レイ・ブラント」だそうで、何と日本円にして約12億円だそうです。すごいですね。

さて、この本「星空のバイオリン」では、小沢さんの小学生の頃のバイオリンとの出会い、中学生の頃にバイオリン第一号を作るようになったきっかけ、よりよいバイオリンを目指して改良を重ねた日々のこと、徴兵されて（軍隊に入隊させること）満州（今の中国）に渡ったこと、そこでの運命的なストラディバリウスとの出会い、頼み込んでストラディバリウスの型紙をとらせてもらったこと、激しくなる戦争の中で小沢さんは沖縄や台湾、フィリピンに送られ、次々と仲間が死んでいく恐怖、それでも胸ポケットに入れたストラディバリウスの型紙を守り続けたこと、そして日本の敗戦・奇跡



の生還…こんなストーリーが描かれているのです。これが小沢さんが守り抜いた型紙の写真です。

今日は「運命的なストラディバリウスとの出会い」の場面を紹介します。小沢さんは徴兵されて満州にいた6月のある日、仲間と外出していたときに素晴らしいバイオリンの音が耳に飛び込んできます。ただのバイオリンではないと思い、数日後、思い切ってその家を訪ねます。玄関のドアをノックすると、日本語を話せる朝鮮人のお手伝いさんが出てきました。その家は、アレキサンドル・レンスキーというロシア人の家でした。お手伝いさんに通訳してもらいながら、意を決して「バイオリンを見せてください」と頼んだところ、しばらく考えていましたが、家の中へ招いてくれました。レンスキーは「兵隊さん、この楽器わかりますか?」と問います…(紙幅の都合上、以下省略)

皆さん、このバイオリンの音を聴いてみたいと思いませんか?

今日は特別に演奏をしてもらいます。特別ゲストは1年2組の小林憧弥さんと松沢先生です。

お二人にバイオリンとピアノのセッションをしていただきます。曲は「エトピリカ(葉加瀬太郎さん)」です。よろしくをお願いします。

小林さん、小沢さんのバイオリンを弾いてみるの感想を聞かせてください。

小林さん「僕が持っているバイオリンよりも響きが良くて、弾いていて楽しかったです。」

二人に盛大な拍手をお願いします。

今日は「校長室のバイオリン」ということで小沢信久二さんについて話をしました。そんな方が中野市にいたことを覚えておいてもらえると嬉しいです。

これで11月の校長講話を終わります。



持ち帰ったストラディバリウスの型紙



保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

今年度もオンラインによる回答方式で行いましたが、多くの方から回答をいただくことができました。また、提出された用紙の記述欄に記入していただいたことも含め、今後の学校運営に活かしてまいりたいと考えております。お忙しい中、ご回答・ご提出をいただき、誠にありがとうございました。

【年末年始休業中(12/27~1/8)の連絡先について】

年末年始休業中に日直の先生が電話対応できる日は、12月27日(水)・1月5日(金)です。

【電話 22-2365/時間 8:20~16:50】

上記以外の期日・時間帯については留守番電話対応となりますので、市役所(22-2111)へご連絡ください。(市役所から教頭に連絡がくることになっています)

○年末年始休業中に、生徒がコロナ・インフルエンザなどの感染症になった場合

→3 学期初日の1月9日(火)以降に出席停止期間がかかる場合のみ、9日(火)の朝に tetoru または電話にてご連絡ください。年末年始休業中に終了する場合は、特にご連絡の必要はありません。

○事故にあったり大けがをしたりした場合は、学校または市役所へご連絡ください。

★**第2回資源回収**の収益は**31,429円**でした。ご協力ありがとうございました。

今年一年間、大変お世話になりました。皆様、良いお年をお迎えください。